

# 鎌倉珪竹炭

## ◆ 鎌倉珪竹とは

- ケイ素を豊富に含有する鎌倉領※の限られたエリアに自生する竹を使用。  
※鎌倉幕府が統治していた現湘南を中心とする地域  
(鎌倉・逗子・葉山・藤沢・茅ヶ崎・平塚・大磯・小田原・横浜・横須賀・三浦地区)
- 竹は成長が早く大地からのミネラル吸収率が大きいため、重金属対策は重要。食品用途は根元から1m以上の部位のみ炭化。

### <炭化炉・炭化方法へのこだわり>

竹炭の通電性・吸着率を高め、純粋な竹炭を生産するため無酸素雰囲気下で、炉の上部から水素還元水を噴霧しつつ、1000℃以上の高温で炭化(還元炭化法)。



## ◆ ケイ素含有量試験



	含有率
鎌倉珪竹炭パウダー	1,700ppm
機能性ヤシ殻活性炭パウダー	359ppm
伊那赤松妙炭パウダー	247ppm

(検査機関:日本食品分析センター)

## ◆ プリン体吸着試験

### 【試験方法】

- ① リン酸二水素ナトリウム、リン酸を用いてpH2.5のリン酸緩衝液を調整する。
- ② アデニン50mgをリン酸緩衝液で溶かし、1ℓとする。
- ③ ②の50ppmアデニン溶液に炭試料1gを加え、3分間攪拌後、ろ紙(アドバンテックNo.2)を用いてろ過。
- ④ 液体クロマトグラフにて濃度測定。

【備考】 プリン体は代表的なものとしてアデニンを使用。  
市販ビールのプリン体濃度約50ppmを目安に調整。

### 【試験結果】

	ピーク面積	濃度(ppm)	吸着率(%)
アデニン50ppm溶液	5,618,749	50.0	
機能性ヤシ殻活性炭パウダー	218,819	1.9	96.2
鎌倉珪竹炭パウダー	560,579	5.0	90.0
伊那赤松妙炭パウダー	1,930,912	17.2	65.6

(検査機関:合同会社トレスバイオ技研)

無断複写転載禁止